

進路だより

平成30年 7月19日
大阪府立守口支援学校
進路指導部 発行第1号
30 学内 第97号

『2018年度 春の同窓会』

5月13日(日)に第22回同窓会定例総会が体育館で行われました。当日は大雨の中でしたが、たくさんの方が参加してくれました。年々卒業生の輪が広がっていく中、平成8年度第1期卒業の方をはじめ同窓生は90名、保護者、教員を加え140名以上の方が集まりました。総会では昨年度の高等部卒業生の紹介が行われました。新会員の紹介ビデオなどもあり、みなさんの温かい拍手で同窓生の一員として迎えられました。

総会終了後はお楽しみのレクリエーションがありました。

ジュースやお茶を飲んだりお菓子を食べたりしながらおしゃべりをする人、得意のカラオケを熱唱する人、縁日の出し物を楽しむ人など、楽しい時間はあっという間に過ぎました。

最後に全員で記念写真を撮影し、再会を約束しての解散となりました。



次の同窓会は11月4日(日)に実施を予定しています。

『福祉懇談会』

福祉懇談会は、高等部3年生の保護者対象に毎年5月下旬に実施しています。

今年度は守口市障がい者基幹相談支援センター、守口市障がい福祉課など10機関12名の参加をいただき、来春の卒業後の進路決定に向け、顔合わせや意見交換を行いました。今年から大阪府障害者自立相談支援センターの方は不参加の為、守口市基幹相談支援センターについての情報を話していただきました。福祉に関わる総合相談や虐待関係などのお話がありました。高等部3年生の保護者は6名の参加があり、卒業までの手続きや手帳の更新についての情報を共有する良い機会となりました。



『PTA 施設見学会』

6月から7月にかけて守口市、門真市、大東市の卒業後に利用する福祉サービス提供されている12ヶ所の事業所の見学を設定しました。見学の多くは①まず事業所の概要を説明していただき②ひと通り見学し③質問の時間を設けていただく…という流れです。「守口・門真市福祉施設案内」の冊子を見ながら説明をうけて、その後の質疑応答の時間では、様々なケースを想定した質問が出ていました。

門真市の「第2ジェイ・エス ステージ」(生活介護)では、ワンフロアで明るく、アットホームな空間作りの中で、皆さんがいきいきと仕事をされていました。

「ジョブハウスくすの木」(就労継続支援A型・就労継続支援B型)と「かすみそう」(B型)では、軽作業、ネット販売、清掃、弁当の盛付など多彩な仕事に取り組みされており、一人ひとりの個性を活かして様々な訓練を行い、就労を目指されていました。

「アイ・i(あい・あい)」(B型)では、自社製品(ゴム製品・ネット・ビニール袋等)のものづくりを通じて、仕事の楽しさ、自立への自信を持てるよう支援されていました。仕事の後に利用者の方たちがくつろげるコミュニティーセンターが同施設内にあるのも印象的でした。

守口市の「ワークスペース土居」(就労移行支援)では、利用者の方の個性や適性を見極めて軽作業などに取り組み、資格取得や就労に向けてのスキルアップを目指されている様子を見ることができました。「^{エル}L・^{アイ}I・^{ジェイ}J」は、軽作業や携帯電話の検品等、「守口誠翔園」は、紙ごみ資源を原料に紙漉きした再生紙で名刺作成等に取り組みされていました。この2つの事業所は就労継続支援A型で、雇用契約を結び、一定の支援を受けながら、短時間勤務で仕事をされていました。

「グレース工房守口」(B型)は、この4月に開所され、一軒家の1階で軽作業に取り組みられています。2階の短期入所施設「シャローム」も見学させていただきました。

今回の見学会は参加希望人数が多く、2グループに分かれての見学でした。日程や時間の変更に応じるご協力をいただきありがとうございました。また大阪北部地震のため、「パロット」(生活介護・B型)の見学会が延期となり、再調整後実施させていただきました。

施設見学会については、実際に事業所を訪れることで、立地環境やその場の雰囲気を感じる良い機会になると考えています。秋には保護者からの希望をもとに引き続き見学会を実施する予定です。



～見学の感想～

・とても詳しく丁寧な説明と詳細な資料、ありがたく感じました。またスタッフさんの優しい雰囲気も素晴らしいと思いました。

・就労継続支援A型、就労継続支援B型の違いやその他の色々な事を見学してこそ、分かった事がたくさんあり、参加してよかったです。いろいろな事業所があり、違いもあると思いますが、今から少しずつ親として心の準備をしていく事も大切なんだと思いました。

『中学部 3 年生 寝屋川支援学校高等部見学』

6月8日(金)に、寝屋川支援学校高等部の授業見学へ行ってきました。学校が大きいことに驚いている生徒がたくさんいました。到着後は2グループに分かれて高等部の授業で使う教室を中心に見学しました。園芸や窯業などの作業を見学した後、休憩を挟んで国数の授業を見学しました。守口支援学校の中学部を卒業した先輩たちが頑張っている様子を見て、高等部への進学を楽しみにする声も聞かれました。

『中学部 3 年生 施設見学』

7月6日(金)「生活」の時間に2グループに分かれ、卒業後に利用する福祉サービス提供されている「グレース工房」・「ジェイ・エス ステージ」へ事業所見学に行ってきました。

「グレース工房」では、唐辛子の袋詰め作業や学校教材のセット・袋詰め作業を見学しました。その後、プラ板を袋に入れて、口のシールをはがしてしわができないように閉じる作業などを体験しました。ここで作った製品がそのまま商品になることも学び、「仕事」をイメージすることができました。

「ジェイ・エス ステージ」では、ミュージックケアの体験と、スポイドのバリ取り(成形されたものから不要な部分を取り除く作業)の作業を体験しました。ミュージックケアでは、ダンスをしたり鈴を振ったり施設の方と一緒に楽しむことができました。

お礼の挨拶も声をそろえて言うことができました。短い時間でしたが、高等部卒業後の進路のイメージが少し湧いたと思います。



『高等部 校内実習』

高等部は6月11日(月)～6月22日(金)の2週間、木工・窯業・紙工・縫製・S4の5種目に分かれ、校内実習を行いました。

木工(鍋敷き・ボックス本棚)、窯業(皿)、紙工(しおり・一筆箋・シール等)、縫製(かばん・コースター・ペンケース等)では即売会に向けてみんなで協力し製品作りに取り組み、S4ではピタゴラスイッチの装置を協力して作成しました。

2週間の校内実習の間に地震で休校になる等、予期せぬ事が起こり、製品が完成するか不安もありましたが、みんなの力を一つにして集中して作業に取り組み最終日の即売会を無事に迎えることができました。

即売会では一生懸命作った製品がずらりと並び、カー杯声を出して接客も頑張りました。自分たちの作った製品が次々と売れていき、笑顔で買って下さるお客様を実際に見て大きな喜びと達成感を味わえたと思います。

S4は、ピタゴラスイッチ装置の映像をTVで流し、たくさんの方に見ていただきました。

一人ひとりが自分の目標に向かって頑張った充実した2週間となりました。即売会では、たくさんの製品をお買い上げいただきありがとうございました。



『守口・門真市福祉施設案内冊子について』

6月初旬に、守口、門真市内の日中活動系の福祉事業所の情報をまとめた施設案内冊子第9版を全校配布しました。今年度も、PTAと学校から予算をいただき、外部へ発注し作成いたしました。

守口市で2施設、門真市で2施設の新規事業所が追加で掲載されています。

今後も日々の地域連携の中で正確かつ迅速な情報提供に努めたいと思っています。保護者の皆様も、この冊子を有効活用下さい。

